

第12回 日本の次世代 リーダー養成塾

問い合わせ先: **日本の次世代リーダー養成塾**

事務局長 加藤 暁子 (携帯: 090-1113-3914)

〒107-0062 東京都港区南青山5-12-28-403

Tel: 03-5466-0804 Fax: 03-5466-0842

塾期間中(7月25日~8月7日)の事務局連絡先は

福岡県宗像市グローバルアリーナのクラブハウス内

直通電話0940-35-7160/7161

FAX 0940-35-7162

Mail: info@leaderjuku.jp URL: http://leaderjuku.jp/

リーダー塾は今年アジア5カ国の高校生を19名招待 アジア・ハイスクール・サミットで 戦後70年の夏 「高校生が拓く平和な未来」を2週間議論し 国際貢献のあり方を考えます

「日本の次世代リーダー養成塾」は、一般社団法人日本経済団体連合会の榊原定征会長を塾長、榊原英資・青山学院大学教授を塾長代理に、日本だけでなく、世界に通用する人材育成を目指した高校生のための2週間のサマースクールです。経済界や地方自治体から日本の将来を背負って立つ人財の育成を目指し、2004年に開塾、今年は12回目を迎え、卒塾生は2000人を越える予定です。卒塾生たちは、日本や世界を舞台にそれぞれの夢を追いかけて活躍をしています。

【日本の高校生に加え、アジア5カ国から高校生が参加】

今年の塾開催期間は7月25日(土)から8月7日(金)で、福岡県宗像市のグローバルアリーナと佐賀県波戸岬少年自然の家で行います。参加者は、書類選考と面接で選抜された全国24都道府県・2カ国から集う日本の高校生167人に加え、今年は「アジア奨学生」として、5カ国(中国、マレーシア、モンゴル、タイ、韓国)の19名の高校生を無償で招待し、合計186人の高校生が2週間寝食を共にします。

【一流講師の講義・ディスカッション・民間企業の精鋭によるクラス担任制度】

塾では、日本や世界を代表する学者、経済人ら各界を代表する一流の講師が講義を行います。講師は、マレーシアのマハティール元首相、宗教学者の山折哲雄氏、特定非営利活動法人国境なき医師団日本前会長の黒崎伸子氏、お茶の水大学長の室伏きみ子氏、東西大学校総長の張済国氏、株式会社ぐるなび代表取締役会長の滝久雄氏ら、22人の講師が全国の高校生に将来の指針を与えます。

そして、講義を踏まえ、90分にわたってクラス別のグループディスカッションを行います。クラス担任は、協賛企業などから派遣された社会人が務めます。また、塾生を指導する大学生のボランティアは卒塾生らが務めます。ディスカッションを積み重ねることで、学問のおもしろさを追求するとともに、リーダーとして必要な多面的な思考力や分析力、決断力を養います。さらに1部屋20人の2段ベッドによる共同生活を通して、自己管理能力を養います。

また、社会人の担任の先生に加え、特定非営利活動法人九州・アジア経営塾の卒塾生ら福岡を中心にした社会人の方々にご協力をいただき、期間中、キャリア教育や夢ディスカッションを行い、将来、社会人としての生き方を学びます。

【アジア・ハイスクール・サミット2015】

塾の大きな取り組みの一つとしてプロジェクト型の取り組みとして「アジア・ハイスクール・サミット」を行います。「高校生が拓く平和な未来」というテーマで、日本人の高校生とアジア5カ国の高校生が2週間かけて戦後70年の節目の夏、徹底的に議論します。



国対国の紛争ではなく、ISに代表される国境を越えたテロ行為が頻繁に起きています。混沌とした時代、日本人が巻き込まれる人質事件も毎年、世界各地で起きていて、他人事ではなくなりました。現在、国会では、安保法案の審議が進められています。また、現行憲法を改正すべきかどうか、国民が審判を下す時も近い将来、来るでしょう。

来年の参院選からは、選挙権が18歳から与えられ、一票を投じる塾生が出ることになります。日本やアジア、そして世界のあるべき姿をアジアの仲間たちときちんと考える。世界から戦争をなくすために若い世代が共に何をすべきか。国際貢献のあり方はどうあるべきか。2週間の「アジア・ハイスクール・サミット」で徹底的に議論をしたいと思います。

議論を深めるためにも、きちんと基礎知識を学んだ上で議論していくことが求められます。そこで塾生たちは、近現代史の課題図書を読み、事前に紛争に対する対処の仕方、徴兵制の是非、自国の国際貢献のあり方などを身近な人たちにインタビューする課題に取り組みました。

塾期間中の「アジア・ハイスクール・サミット」では、戦争はなくなるのか、なくなるのか、徴兵制の是非などを議論した上で、戦争のない世の中をつくるためにアジア域内はどういう国際貢献をするべきなのかを提言します。8月5日（水）9：00～12：45には、2週間の集大成として発表をした上で、衆院選などで使われる本物の記帳台や投票箱を使い投票を行い、最優秀チームを選びます。

8月6日（木）9時半から11時半には、塾生たちの提案をマレーシアのマハティール元首相の前で発表した上で、マハティール氏に講評をいただき、「混沌とした世界にアジアの次世代リーダーが果たす役割」と題して、20年以上首相を務め、数々の国際紛争を経験克服したマハティール氏に次世代へのメッセージを託していただきます。

【今年で創立100周年を迎える株式会社安川電機の最先端のロボット工場を見学】

株式会社安川電機は、産業用ロボットで世界シェアNo.1の製品を持つ「ものづくりニッポン」が世界に誇るリーディングカンパニーです。今年で創立100周年を迎えるにあたり、福岡県北九州市の本社事業所を「ロボット村」としてリニューアルし、本年6月1日より一般公開しています。塾では、ロボットがロボットを作る様子を見学できる「ロボット工場」をはじめ、安川電機の最先端技術を駆使して、ロボットの技術やものづくりの魅力が凝縮された「安川電機みらい館」を見学することで、今後、急速に世界で起こる技術革新の中で日本の産業が生き残るものづくりとは何か、また、高齢社会が深刻化する日本の中でのロボットのあり方などを探ります。



(安川電機 HP より抜粋)

【8月1日全国公開の映画「セバスチャン・サルガド／地球へのラブレター」をリーダー塾で上映】

8月2日（日）に名護屋城博物館ホールにて、講師である李鳳宇先生の会社で配給され、本年8月1日に全国公開される「セバスチャン・サルガド／地球へのラブレター」を公開2日目にしてリーダー塾で上映します。

ブラジルに生まれ、後進たちに計り知れない影響を与え続ける世界的な報道写真家であり、大自然の保全や復元に尽力する環境活動家としても知られるセバスチャン・サルガド。“神の眼を持つ”とも言われる美しい作品の数々を彼はいかにして撮り続けてきたのか。映画では、彼の波乱に満ちた足跡を解き明かしていきます。2015年度アカデミー賞最優秀長編ドキュメンタリー映画賞ノミネートをはじめ、世界各国の映画祭で絶賛された感動の作品です。

【佐賀県立名護屋城博物館を見学】

佐賀県立名護屋城博物館は、日本列島と朝鮮半島との長い交流の歴史をたどり、双方の交流・友好の推進拠点となることを目指して、1993年に開館しました。豊臣秀吉が朝鮮出兵の際に拠点としたことで知られる肥前名護屋城。塾では、実際に名護屋城跡を見学し、タブレット端末により当時の名護屋城の様子を再現できる「バーチャル名護屋城」を体験します。また、日本と朝鮮半島のこれまでの歴史に関する貴重な資料が展示された展示室を見学することで、日本と朝鮮半島がどのような歴史を歩んできたのかを学び、今後の平和のあり方について考えます。当日は、当博物館学芸課企画普及担当係長の廣瀬雄一氏に「アジアの中の日本 過去・現在・そして未来」という演題でお話をさせていただきます。



(名護屋城博物館 HP より抜粋)

「日本の次世代リーダー養成塾」期間中の取材にお越しの際は、必ず事前に、以下にご連絡ください。

(連絡先)

- 塾期間中(7月25日～8月7日)の事務局連絡先

福岡県宗像市グローバルアリーナのクラブハウス内直通電話 0940-35-7160/7161

FAX 0940-35-7162

- 上記期間以外の事務局連絡先:03-5466-0804 FAX 03-5466-0842

- 日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長の加藤 暁子の携帯番号は、090-1113-3914です。

【添付資料】

事業概要

講師・講義内容一覧

カリキュラム

アジア・ハイスクール・サミット

塾生概要

塾生高校一覧

アジア奨学生概要

役員等名簿

第12回日本の次世代リーダー養成塾 事業概要

1 主催者

日本の次世代リーダー養成塾

塾長：榊原定征／一般社団法人日本経済団体連合会会長

2 開催日程

2015年7月25日（土）～8月7日（金）

3 開催・宿泊施設

グローバルアリーナ（福岡県宗像市吉留46-1）

波戸岬少年自然の家（佐賀県唐津市鎮西町名護屋5581-1）

※自然の家は8月1日（土）～8月3日（月）の2泊3日で宿泊

4 塾生

対象：高校生（1年生～3年生） 186名

- ・参画県推薦枠 107名（北海道・青森県・岩手県・静岡県・岐阜県・和歌山県・福岡県・佐賀県・福岡県宗像市・同県古賀市）
- ・全国からの一般公募枠 60名
- ・アジア奨学生 19名（中国、マレーシア、モンゴル、タイ、韓国）

5 カリキュラム概要

① 各界を代表する講師陣による講義

- 教養系（哲学、近現代経済・文明史、医学、科学、芸術など）
日本や世界を代表する講師が高校生に知的好奇心を湧かせる講義をします。
- ビジネス系（日本企業の強みと弱み、ビジネスのしくみなど）
世界を相手にビジネスの最先端で日夜活躍する講師が、日本の企業の強みや弱み、ひいては日本の国のあり方を伝えます。
- 国際系（国際問題や外交、国連やNGO活動への理解）
世界に目を向け、日本人としてのアイデンティティを持ち、国際舞台で活躍できる力をつけます。
- 人間学（将来の夢をどう具現化するか、リーダーとしての生き方など）
人生の先達が21世紀の日本を背負って立つ人材に必要なことは何かを語ります。

② 講義後のディスカッション

講義終了後にクラス担任の指導のもと、1クラス約26名によるグループディスカッションを行います。クラス担任は、日本を代表する企業の中堅社員が務めます。

③ プロジェクト型企画「アジア・ハイスクール・サミット」

アジアの未来を担う6カ国（中国、マレーシア、モンゴル、タイ、韓国、日本）の高校生たちが、2週間を通して次世代のよりよい関係構築に向けた議論を行い、具体案を提言する「アジア・ハイスクール・サミット」を開催します。

④ フィールドトリップ

- 佐賀県立名護屋城博物館
当時の貴重な資料や遺産を見学し、日本と朝鮮半島間の歴史を学びます。
- 株式会社安川電機 ロボット工場
今年で創立100周年を迎える株式会社安川電機の最先端のロボット工場を見学し、ものづくりの楽しさや難しさを学びます。

第 1 2 回日本の次世代リーダー養成塾 講師・講義内容一覧

講師 22 名（敬称略、五十音順）

1. あかし やすし 明石 康 / 元国連事務次長・公益財団法人国際文化会館理事長
「世界の中の日本—もっと外に開く国に」
“Japan in the world-towards a more open country”
2. あそ う わたる 麻生 渡 / 前全国知事会会長・福岡空港ビルディング株式会社社長
「近現代世界史を学ぶ」
3. おがわ ひろし 小川 洋 / 福岡県知事
「アジアとともに発展する福岡県」
4. かさや かずひ こ 笠谷和比古 / 帝塚山大学文学部文化創造学科教授・国際日本文化研究センター名誉教授
「徳川時代の東アジア善隣友好外交」
5. かわかつ へいた 川勝平太 / 静岡県知事
「『明治日本の産業革命』の世界史的位罝」
6. くろさき のぶ こ 黒崎伸子 / 特定非営利活動法人国境なき医師団日本前会長
「海外の人道危機に対して—私たちができること」
7. こてがわ きょうじ 小手川強二 / フンドーキン醤油株式会社代表取締役社長
「発酵食品の魅力」
8. こばやし りょうすけ 小林亮介 / 一般社団法人HLAB創設者・代表理事
「身近な『多様性』の価値：フツーな自分が世界に貢献する方法」
9. さかきばら えいすけ 榊原英資 / 青山学院大学教授
「戦後70年：これからの日本」
10. たき ひさお 滝 久雄 / 株式会社ぐるなび代表取締役会長・創業者
株式会社NKB取締役会長・創業者
「やらなければならないことは、やりたいことにしよう！」
11. ちやん じえい ぐく 張 济国 / 東西大学校総長
「日韓関係と未来のリーダーの夢」

12. 沈 壽官 / 薩摩焼十五代
「伝統を守り現代を表現する」
13. 中村 俊郎 / 中村ブレイス株式会社代表取締役社長
「義肢装具作りの半生『新たなアスリートとの出会い』」
14. 廣瀬 雄一 / 佐賀県立名護屋城博物館学芸課企画普及担当係長
「アジアの中の日本 過去・現在・そして未来」
15. マハティール・モハマド / マレーシア元首相
「混沌とした世界にアジアの次世代リーダーが果たす役割」
“What is the role for future leaders in Asia facing this chaotic world”
16. 南野 森 / 九州大学大学院法学研究院教授
「憲法とは何かを考える——最近の憲法論議を題材にして」
17. 室伏きみ子 / お茶の水女子大学長
「自分自身を知るための命の科学—私達は40億年の命の歴史を持っている」
18. 安田 喜憲 / ふじのくに地球環境史ミュージアム館長
前東北大学大学院環境科学研究科教授・国際日本文化研究センター名誉教授
「動物文明から植物文明へのライフスタイルの転換」
19. 山折 哲雄 / 宗教学者
「平和と刀」
20. 山田 孝男 / 毎日新聞特別編集委員
「歴史認識問題とジャーナリズム」
21. 李 鳳宇 / 映画プロデューサー・株式会社 RESPECT 代表取締役
「エンターテインメントの裏側」
22. 加藤 暁子 / 日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長
「ノブレス・オブリージュになれるか」

第12回 日本の次世代リーダー養成塾 カリキュラム表 (2015年7月25日~8月7日)

敬称略

日	目	日程	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	
1	7/25 (土)										受付		入塾式	小川 洋 福岡県知事	レポ ート	夕食	スタッフ・施設紹介		入浴	就 業 準 備	
2	7/26 (日)	朝食・掃除		HR	加藤 暁子 日本の次世代リーダー養成塾 専務理事・事務局長	レポ ート	オリエン テーション	昼食	滝 久雄 働くるなび会長・創業者	レポ ート	ディスカッション	チーム ビルディング	夕食	委員 会	HR				就 業 準 備	就 業	
3	7/27 (月)	朝食 掃除		書禱	アジア・ ハイスクール・ サミット (AHS)		中村俊郎 中村プレス機社長	レポ ート	昼食	室伏きみ子 お茶の水女子大学長	レポ ート	ディスカッション	HR	夕食	アジア各国発表				就 業 準 備	就 業	
4	7/28 (火)	掃除 朝食		書禱	アジア・ ハイスクール・ サミット		明石 康 元国連事務次長	レポ ート	昼食	小林亮介 HLAB創設者・代表理事	レポ ート	南野 森 九州大学大学院 法学研究院教授	レポ ート	ディスカッ ション	夕食	HR			就 業 準 備	就 業	
5	7/29 (水)	掃除 朝食		書禱	アジア・ ハイスクール・ サミット		笠谷和比古 帝塚山大学文学部 文化創造学科教授	レポ ート	昼食	キャリア教育	小手川強二 フンドーキン醤油 社長	みそ汁コンテスト			レポ ート	HR			就 業 準 備	就 業	
6	7/30 (木)	朝食 掃除		書禱	アジア・ ハイスクール・ サミット		山田孝男 毎日新聞特別編集委員	レポ ート	昼食	張 済国 東西大学校長	レポ ート	ディスカッション	HR	夕食					就 業 準 備	就 業	
7	7/31 (金)	担任交代		掃除 朝食	書禱	アジア・ ハイスクール・ サミット		安田喜憲 ふじのくに地球環境史 ミュージアム館長	レポ ート	昼食	川勝平太 静岡県知事	レポ ート	麻生 渡 福岡空港ビルディング 社長	レポ ート	夕食	HR			就 業 準 備	就 業	
8	8/1 (土)	佐賀	掃除 片付け	荷物 移動	移動・朝食		入所 式	荷物 移動	弁当 昼食	ビデオ 学習	15代沈壽官 産廃焼十五代	レポ ート	山折哲雄 宗教学者	レポ ート	夕食	HR	アジア・ ハイスクール・ サミット			就 業 準 備	就 業
9	8/2 (日)	佐賀	朝の つどい	朝食・掃除	移動	映画 「セバスチャン・サルガド/ 地球へのラブレター」		幸 鳳宇 映画プロデューサー	レポ ート	弁当 昼食	廣瀬雄一 名護屋城博物館 企画普及担当係長	名護屋城博物館 見学	移動	タレの つどい	夕食	HR	アジア・ ハイスクール・ サミット			就 業 準 備	就 業
10	8/3 (月)	佐賀	朝の つどい	朝食・掃除	荷物 移動	退所 式	移動		昼食	安川電機 ロボット工場見学			移動	荷物 移動	夕食		アジア・ ハイスクール・ サミット			就 業 準 備	就 業
11	8/4 (火)		朝食 掃除	書禱	アジア・ハイスクール・サミット				昼食	キャリア教育	レポ ート	黒崎伸子 国境なき医師団日本前会長	レポ ート	夕食	アジア・ ハイスクール・サミット	HR			就 業 準 備	就 業	
12	8/5 (水)		朝食 掃除	書禱	アジア・ハイスクール・サミット 発表・投票				昼食	榎原英資 青山学院大学教授	レポ ート	アジア・ハイスクール ・サミット 英語発表準備	HR	夕食	夢ディスカッ ション 1~3組	夢ディスカッ ション 4~7組			就 業 準 備	就 業	
13	8/6 (木)		朝食 掃除		AHS 英語 発表	マハティール・ モハマド マレーシア元首相	レポ ート		昼食	目標宣言		ふりかえり	HR	夕食	卒業GALA				就 業 準 備	就 業	
14	8/7 (金)		掃除	朝食	掃除 確認	片づけ 確認	卒業式	挨拶など	記念 撮影	歓談	帰路へ										



「アジア・ハイスクール・サミット2015～高校生が拓く平和な未来～」趣旨

リーダー塾では、一流の講師の先生方の講義を拝聴するだけでなく、さらに踏み込んで日本の将来のあり方を具体的に議論してほしいとの思いから、2009年より「ハイスクール国会」を始めました。国会では、地域を代表する国会議員が自分の住む地域の代表として国会で論戦して法制化します。「ハイスクール国会」も同じように、全国から集まる高校生が、地域を代表する「次世代の国会議員」となり、総理大臣を選出して、具体的な政策を提言してきました。

昨年からは、「ハイスクール国会」がバージョンアップし、「アジア・ハイスクール・サミット」として、生まれ変わりました。昨年からアジア各国の高校生を招待することとなり、今年は中国、マレーシア、モンゴル、タイ、韓国の5か国から高校生が参加します。お互いの国々を知り、アジア域内でどう手を携えていくかを真剣に考える機会となります。

今年、日本は戦後70年の節目の年を迎えましたが、日本は、第二次世界大戦後、平和憲法を制定し、70年間、日本は一切戦争をしませんでした。しかし、残念なことに、この70年の間、世界では数えきれない紛争や戦争が起き、多くの人々の命が奪われてきました。最近では、国対国の紛争ではなく、ISに代表される国境を越えたテロ行為が頻繁に起きています。混沌とした時代、日本人が巻き込まれる人質事件も毎年、世界各地で起きていて、他人事ではなくなりました。

現在、国会では、安保法案の審議が進められています。現行憲法を改正すべきかどうか、国民が審判を下す時も近い将来、来るでしょう。来年の参院選からは、選挙権が18歳から与えられます。来年には、国政に一票を投じる塾生が出ることとなります。日本やアジア、そして世界のあるべき姿をアジアの仲間たちときちんと考える。世界から戦争をなくすために若い世代が共に何をすべきか。国際貢献のあり方はどうあるべきか。2週間の「アジア・ハイスクール・サミット」で徹底的に議論をします。

このサミットでは、自国にいるだけでは偏見を持つ事柄について、お互いに腹を割って本音で話すことで、相手を理解することができ、参加後は物事をより多角的に考えることができるようになります。高校生らしい想像力と創造力で、日本人とアジアの高校生たちが協力して、将来のあるべき地球のあるべき姿を提言します。

【課題図書とワークシート】

塾生には事前の宿題として、以下の本を課題図書にしました。半藤一利著の「昭和史」(平凡社ライブラリー)から日本の近・現代史を学び、日本がなぜ第二次世界大戦に至ったのか、その経緯を学び、戦後日本の進んできた道を学びます。また、マハートマ・ガンディー著「ガンディーの言葉」(岩波ジュニア新書)を読んで、暴力によらない世界平和を追求したガンディーの考え方を学びます。

また、塾生自身と身近な2人にインタビューするワークシートは以下の通りです。

1. 今一番気になっている世界の中の紛争や戦争は何ですか？またその理由は？
2. 今後日本が戦争に巻き込まれるのではないかという不安がありますか？理由は？
3. アジアをはじめ、世界には徴兵制を導入している国があり、一般市民も有事に備えることが義務づけられている国もありますが、徴兵制には賛成か反対ですか。理由は？
4. 紛争を解決するために日本がやるべきことは何でしょうか？
5. 日本の国際貢献で必要だと思う具体策は何でしょうか。
6. 高校生の視点に立って、高校生自らができる国際貢献の方策を考えてください。

【塾開催中のスケジュール】

7月27日(月) 全体討議(戦争に巻き込まれる可能性はあるのか、徴兵制の是非)

7月28日(火) グループ・ディスカッション(戦争とは、戦争はなぜ起きるのか)

7月29日(水) グループ・ディスカッション(戦争はなくなる？戦争はなくなる？)

7月30日(木) グループ・ディスカッション(同)

7月31日(金) グループ・ディスカッション(7つのグループに分かれる)

8月1日(土) グループ・ディスカッション(同)

8月2日(日) グループ・ディスカッション(同)

8月3日(月) グループ・ディスカッション(同)

8月4日(火) グループ・ディスカッション(同)

8月5日(水) 発表・投票・講評・振り返り

8月6日(木) マハティール氏の前で発表・講評

第12回日本の次世代リーダー養成塾 塾生概要

○受講者総数 167名(男子59名・女子108名) 24都道府県2ヶ国(アメリカ・フランス)

○参画県推薦枠 107名 (男子39名・女子68名)

1	北海道	9名	(男子 3名)	(女子 6名)
2	青森県	11名	(男子 2名)	(女子 9名)
3	岩手県	12名	(男子 3名)	(女子 9名)
4	静岡県	10名	(男子 7名)	(女子 3名)
5	岐阜県	12名	(男子 4名)	(女子 8名)
6	和歌山県	10名	(男子 2名)	(女子 8名)
7	福岡県	22名	(男子 7名)	(女子 15名)
8	宗像市	4名	(男子 3名)	(女子 1名)
9	古賀市	2名	(男子 1名)	(女子 1名)
10	佐賀県	15名	(男子 7名)	(女子 8名)
計		107名	(男子 39名)	(女子 68名)

○一般公募枠 60名 (男子20名・女子40名)

1	北海道	2名	(男子 0名)	(女子 2名)
2	山形県	2名	(男子 1名)	(女子 1名)
3	群馬県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
4	千葉県	2名	(男子 0名)	(女子 2名)
5	東京都	11名	(男子 3名)	(女子 8名)
6	神奈川県	8名	(男子 2名)	(女子 6名)
7	石川県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
8	静岡県	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
9	愛知県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
10	三重県	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
11	大阪府	4名	(男子 1名)	(女子 3名)
12	兵庫県	2名	(男子 0名)	(女子 2名)
13	岡山県	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
14	広島県	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
15	福岡県	9名	(男子 3名)	(女子 6名)
16	佐賀県	4名	(男子 2名)	(女子 2名)
17	大分県	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
18	宮崎県	2名	(男子 0名)	(女子 2名)
19	鹿児島県	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
20	沖縄県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
21	アメリカ	2名	(男子 1名)	(女子 1名)
22	フランス	2名	(男子 1名)	(女子 1名)
計		60名	(男子 20名)	(女子 40名)

第12回日本の次世代リーダー養成塾 合格者学校一覧

24都道府県 2ヶ国(アメリカ・フランス)、110校

学校所在地	学校名	
北海道	北海道芦別高等学校	
	北海道札幌工業高等学校	
	北海道札幌西高等学校	
	私立遺愛女子高等学校	
	私立とわの森三愛高等学校	
	私立北星学園女子中学高等学校	
青森県	私立北嶺高等学校	
	私立立命館慶祥高等学校	
	青森県立青森高等学校	
	青森県立青森北高等学校	
	青森県立青森西高等学校	
	青森県立五所川原農林高等学校	
	青森県立弘前高等学校	
	青森県立木造高等学校	
	私立青森明の星高等学校	
	私立八戸聖ウルスラ学院高等学校	
	岩手県	岩手県立一関第一高等学校
		岩手県立一戸高等学校
岩手県立伊保内高等学校		
岩手県立岩泉高等学校		
岩手県立不来方高等学校		
岩手県立大東高等学校		
岩手県立遠野高等学校		
岩手県立西和賀高等学校		
岩手県立盛岡第一高等学校		
山形県	山形県立山形西高等学校	
	山形県立山形東高等学校	
群馬県	私立共愛学園高等学校	
千葉県	私立暁星学園国際高等学校	
	私立麗澤高等学校	
東京都	東京都立国際高等学校	
	東京都立西高等学校	
	私立大妻多摩高等学校	
	私立学習院女子高等科	
	私立自由学園高等科	
	私立頌栄女子学院高等学校	
	私立昭和女子大学附属昭和高等学校	
	私立多摩大学目黒高等学校	
	私立東京都市大学附属高等学校	
	私立雙葉高等学校	
	神奈川県	神奈川県立小田原高等学校
		私立公文国際学園高等部
私立洗足学園高等学校		
私立捜真女学校高等学部		
私立横浜隼人高等学校		
石川県	国立金沢大学附属高等学校	
静岡県	静岡県立伊豆中央高等学校	
	静岡県立科学技術高等学校	
	静岡県立清水東高等学校	
	静岡県立菫山高等学校	
	静岡県立沼津東高等学校	
	静岡県立浜松北高等学校	
	静岡県立浜松西高等学校	
	静岡市立高等学校	
	私立静岡学園高等学校	
	私立静岡聖光学院高等学校	

学校所在地	学校名
岐阜県	岐阜県立岐南工業高等学校
	岐阜県立岐阜高等学校
	岐阜県立岐阜農林高等学校
	岐阜県立関高等学校
	岐阜県立土岐商業高等学校
	私立鶯谷高等学校
	私立岐阜女子高等学校
	私立城南高等学校
	私立麗澤瑞浪高等学校
	愛知県
三重県	私立暁中学校・高等学校
大阪府	私立関西学院千里国際高等部
	私立清教学園高等学校
兵庫県	私立啓明学院高等学校
	私立三田学園高等学校
和歌山県	私立智辯学園和歌山高等学校
岡山県	私立岡山学芸館清秀高等部
広島県	私立広島三育学院高等学校
福岡県	福岡県立折尾高等学校
	福岡県立香椎高等学校
	福岡県立輝翔館中等教育学校
	福岡県立小倉工業高等学校
	福岡県立新宮高等学校
	福岡県立筑紫丘高等学校
	福岡県立戸畑高等学校
	福岡県立三池高等学校
	福岡県立宗像高等学校
	福岡県立明善高等学校
	福岡県立山門高等学校
	福岡県立八女高等学校
	私立上智福岡高等学校
	私立西南学院高等学校
	私立筑紫女学園高等学校
	私立東海大学付属第五高等学校
	私立福岡工業大学附属城東高等学校
	私立福岡女学院高等学校
	私立福岡雙葉高等学校
私立明光学園高等学校	
私立明治学園高等学校	
私立八女学院高等学校	
佐賀県	佐賀県立伊万里高等学校
	佐賀県立佐賀西高等学校
	佐賀県立武雄高等学校
	私立弘学館高等学校
	私立東明館高等学校
私立早稲田佐賀高等学校	
大分県	大分県立中津南高等学校
宮崎県	宮崎県立宮崎南高等学校
	私立宮崎第一高等学校
鹿児島県	鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校
沖縄県	沖縄県立球陽高等学校
アメリカ	Academic Magnet High School
	Robert Lonis Stevenson School
フランス	International School of Paris

第12回日本の次世代リーダー養成塾 アジア奨学生 概要

●奨学生総数 19名（男子7名・女子12名）

1	中国	4名	(男子 0名)	(女子 4名)
2	マレーシア	4名	(男子 1名)	(女子 3名)
3	モンゴル	2名	(男子 1名)	(女子 1名)
4	タイ	5名	(男子 3名)	(女子 2名)
5	韓国	4名	(男子 2名)	(女子 2名)
計		19名	(男子 7名)	(女子 12名)

●奨学生学校一覧(5ヶ国、11校)

学校所在地	学校名
中国	成都外国語学校
	石家荘外国語学校
マレーシア	帝京マレーシア日本語学院
モンゴル	新モンゴル高等学校
タイ	Patumwan Demonstration School
	Potisarnpittayakorn School
	私立鳥取敬愛高等学校
韓国	忠烈高等学校
	東天高等学校
	釜山観光高等学校
	釜山国際外国語高等学校

主催者からのメッセージ

榑原定征 塾長（一般社団法人 日本経済団体連合会 会長）



世界から信頼され豊かで活力溢れる国を実現することが、日本の目指すべき未来だと思います。そのためには、技術革新はもとより、政治、経済、社会など、国民生活全般にわたるイノベーションを進め、旧来の制度や慣行に捉われず、新しい変革を起こしていく必要があります。同時に、グローバル化の中で、日本の強みを世界に積極的に発信するとともに、海外の活力を取り込んでいくことが重要となっています。

これらは、若きリーダーの存在と活躍抜きには成し得ません。日本、そして世界を舞台に活躍する若者が「新しい日本を創り、世界に挑戦する」との強い気概を持ち、困難にも果敢に挑むことで、日本の進むべき道が切り開かれていくものと確信しています。

次代を担う高校生の皆さんには、本塾で、同じ志を持つ仲間と切磋琢磨し、教養を深め、視野を広げ、様々な課題に真正面から取り組んでいただきたいと思います。そして、未来を担うリーダーとしての強固な礎を構築されることを心より願っております。

「日本の次世代リーダー養成塾」役員等名簿

（五十音順）

塾長	榑原 定征／一般社団法人日本経済団体連合会会長
塾長代理	榑原 英資／青山学院大学教授
筆頭理事	小川 洋／福岡県知事
理事	浅野 史郎／神奈川大学特別招聘教授
理事	麻生 渡／前全国知事会会長・福岡空港ビルディング株式会社社長
（顧問兼務）	
理事	石原 進／九州旅客鉄道株式会社相談役
理事	榎本 一彦／福岡地所株式会社代表取締役会長
理事	金澤 一郎／国際医療福祉大学大学院教授・東京大学名誉教授
理事	川勝 平太／静岡県知事
理事	小島 順彦／三菱商事株式会社取締役会長
理事	高橋 温／三井住友信託銀行株式会社相談役
理事	高橋 はるみ／北海道知事
理事	滝 久雄／株式会社ぐるなび代表取締役会長・創業者 株式会社NKB取締役会長・創業者
理事	達増 拓也／岩手県知事
理事	谷井 博美／福岡県宗像市長
理事	張 富士夫／トヨタ自動車株式会社名誉会長
理事	仁坂 吉伸／和歌山県知事
理事	橋田 紘一／株式会社九電工取締役相談役
理事	古田 肇／岐阜県知事
理事	松尾 新吾／九州電力株式会社相談役
理事	溝上 泰弘／株式会社ミズ代表取締役会長
理事	三村 申吾／青森県知事
理事	宗政 伸一／株式会社サニックス代表取締役社長
理事	山口 祥義／佐賀県知事
専務理事	加藤 暁子
（事務局長兼務）	
監事	薬真寺 偉臣／九州電力株式会社取締役常務執行役員